

Lesson 01 「旧石器時代の日本列島」

～ Logical - 通史理解「日本史探究」疾風 Watabe 塾 ～

【地質年代区分】

○先カンブリア時代 → 古生代 → 中生代

→ 新生代 = (暁新世・始新世・漸新世・中新世・鮮新世・更新世・完新世)

○2020年 IUGS

〔1 **国際地質科学連合** 〕は、最後の〔2 **地磁気逆転** 〕の痕跡を示す千葉県市原市の地層断面にもとづき、77.4万年前～12.9万年前 (**更新世/後期**)の期間を〔3 **チバニアン** 〕 (=千葉時代)と命名した

【人類の誕生】

○中新世 (約700～600万年前)

・ヒトの祖先が〔4 **アフリカ** 〕で誕生～ヒト・チンパンジー共通祖先が分岐

○鮮新世 (約500万年～250万年前)のはじめごろ

・〔5 **猿人** 〕が誕生

～ 二足歩行を始める

・〔6 **更新世** 〕 (約250万年～1万年前)

= **氷河時代** (氷期と間氷期が交互にくりかえされる)

・〔7 **原人** 〕 (約250万年前)

～ 外界への適応力が増す

・〔8 **旧人** 〕 (約50万年前) → 〔9 **新人** 〕 (約10万年前)

～ 地球上の広い範囲に分布域を拡大

○旧石器時代 (約250万年前～更新世末)

・直立二足歩行 ～ 手の自由を得る

→ 〔10 **打製石器** 〕の使用 … (石を打ち欠いただけの石器を製作)

→ 〔11 **火** 〕の使用

→ 〔12 **言語** 〕の発達

～ 大型獣の狩猟のため意思伝達の必要性 → 〔13 **集団** 〕の成立

○旧石器時代の日本列島と大陸

・寒冷な氷期 ～ 平均気温は現在より〔14 **7～8℃** 〕低く、

海面/海拔高度は現在より〔15 **約100m** 〕低い

・日本列島と大陸が陸続き

北海道 ▶ 〔16 **北方ルート** 〕

西日本 ▶ 〔17 **朝鮮ルート** ・ **東シナ海ルート** ・ **南方(沖縄)ルート** 〕

→ 大陸から大型獣や人類の往来が可能

○人類が追った大型獣

北方系: 〔18 **マンモス** ・ **ヘラジカ** 〕

南方系: 〔19 **ナウマンゾウ** ・ **オオツノジカ** 〕

○石器の形や製作技法の大陸との共通性

～ 旧石器時代の文化交流の広さをうかがい知ることができる

○化石人骨の発見 静岡県〔20 **浜北人** 〕、沖縄県〔21 **港川人** 〕

【日本の旧石器時代】

○群馬県〔22 **岩宿遺跡** 〕の発見 ～ 群馬県新田郡笠懸村

1946 発見者: 〔23 **相沢忠洋** 〕

この地域の赤土である〔24 **関東ローム層** 〕の中から

石器を発見 (黒曜石製の打製石器)

1949 明治大学の発掘調査における確認作業

⇒ 更新世の地層で石器の発見が相次ぐ

⇒ 土器使用以前の古い文化 (= **旧石器文化**) の存在が証明されていく

【日本の旧石器文化】

○旧石器時代の遺跡 ～ 多くは後期旧石器時代のもの (約4万年前よりも新しい)

○石器の主な材料: 〔25 **黒曜石** ・ **サヌカイト** 〕

○石器の種類

・ 〔26 **握斧** 〕 (ハンドアックス)

・ ナイフ形石器 (刺突具・刃器)

・ 搔器 (獣皮をなめす)

・ 槍先形尖頭器

・ 〔27 **細石器** 〕 (マイクロリス) ～ 旧石器時代末期に出現

○東アジア・北アジアとの関連性

・ 石器製作技法や石器の形態 → 日本列島特有のものもある

・ 日本列島内の地域差 ～ 石器の種類、ナイフ形石器の形態 → 地域性形成のさきがけ

○生活

・ 落とし穴や槍などを使った狩猟、移動生活

・ 小規模な集団の自給的生活 ～ 石器石材の遠方からの調達 → 他集団との社会的関係

・ 精神文化面は不明な点が多い

〔28 **北海道** 〕を中心に「玉類」・「垂飾り類」発見 → 装飾行為

○旧石器時代の遺跡 ～ 全国10,000か所以上

・ 生活の痕跡が少ない → 移動性の高い生活 (獲物を追う生活)

・ 石器製作跡やキャンプサイトの発見 (洞窟・岩陰)

・ 旧石器時代の代表的遺跡

北海道 … 〔29 **白滝遺跡** 〕 … 細石刃を多数発見

長野県 … 〔30 **野尻湖遺跡** 〕 … ナウマンゾウ博物館でも有名